

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
徒手検査法実技											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	青木 伊之			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
2年次に学習した軟部組織損傷各論を基に、各部位別、各損傷ごとに軟部組織損傷時の触診や整形外科的テスト法について、正確な実技とその注意事項を学び、併せて鑑別すべき疾患を理解することがねらいである。身体を部位ごとに分け、それぞれの部位について起こる軟部組織損傷の概説、発生機序、症状、治療法、予後、合併症、鑑別すべき類症などについて口述し、視診、触診、徒手検査法を実施して損傷程度の分類を行う。											
到達目標											
臨床現場に十分に堪えうるよう、各部位別、各損傷ごとに軟部組織損傷時に加わる力の特徴やそれに影響を与える要素、それぞれの損傷の概説、分類、発生機序、徒手検査法、症状、治療法、固定法、治癒経過、治癒に影響を与える因子、予後、合併症、鑑別診断を要する類症などについて正確に口述し、視診、触診、整形外科的テスト法を正確に実施すること（認定実技審査で問題なく合格できるレベル）を到達目標にしている。											
授業方法											
プリントを用いる。1年次に学んだ運動器、特に軟部組織の基本的な構造と機能、2年次に学んだ各部位の軟部組織損傷の知識を基に、身体各部位の損傷について徒手検査法の意義、意味、動きを理解し、正確な実技を実施、口述できるようになるよう授業を進める。											
成績評価方法											
全体の70%は試験と課題を総合的に評価する。残り30%は授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。											
履修上の注意											
柔道整復師の業務内容そのものを学ぶので、身だしなみに注意を払い（KC着用、爪は綺麗に、装飾品は外すなど）、医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書（包帯固定学 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	足関節損傷のテスト法										
第2回	下腿部損傷のテスト法										
第3回	大腿部損傷のテスト法										

第4回	股関節のテスト法
第5回	膝関節損傷のテスト法
第6回	肩関節損傷のテスト法
第7回	肘部損傷のテスト法
第8回	前腕部、手部損傷のテスト法
第9回	胸郭のテスト法
第10回	頸部のテスト法
第11回	腰部のテスト法
第12回	神経、血管のテスト法
第13回	テスト法 詳細注意点1
第14回	テスト法 詳細注意点2
第15回	徒手検査法全体を通しての振り返り